

みどりの風

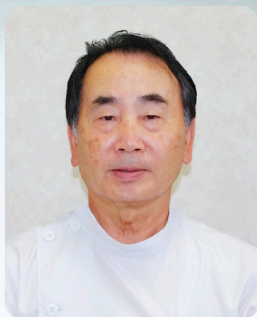


医療法人 みどり会 枚方市藤阪中町3番20号 ☎072-868-2071
 社会福祉法人 松樹会 枚方市交北2丁目10番1号 ☎072-898-2197
 URL <http://midori.jpn.org/> E-mail midorii@io.ocn.ne.jp

編集責任者：理事長 中村 猛
 編集：季刊誌発行委員会

第21号御挨拶

理事長 中村 猛



皆さん、こんにちは。
 今年の梅雨入りは1週間程遅れましたがあたりの田園では満々と張りつめられた水面に規則正しく植えられた稲の若芽が真夏の強い陽射しをいっぱい浴びて日毎、ぐんぐん成長しております。

国政は菅内閣が誕生し“強い経済、強い財政そして強い社会保障”のキャッチフレーズのもとわが国の外交、内政の多難な航海に一步を進めました。

すなわち国民の健康に関する将来の安定した生活保障を支えた安心した生活が消費経済を活性化し強い経済が企業、団体の成長を促進し、もって税収の増加等が強い財政へつながるという良きサイクル、循環にもっていく政策は是非とも国民の支持、協力を得て実現したいものです。

先日“大自然の驚異シリーズ”のDVDを購入し、久し振りでゆっくり観賞しました。

地球温暖化で冰山・氷原が融解し、北極グマが絶滅の危機に瀕している状況、アフリカ大陸で繰りひろげられる壮絶な厳しい大自然に生きていく動物のドラマ等がすさまじいリアルな画面に映し出されてきました。

そこにはこの地球は人間の独占したものでないあらゆる生物との共存の必要性、大自然への畏怖、畏敬の念、環境破壊への警鐘等が鋭く鮮明に訴えられていました。何よりもこの自然界に自己の世代を残すための厳しい真摯な生き方にはすべての観る者の心を打つものがありました。

医療福祉の社会事業に携わる私たちには、このドラマが人生如何に生きるべきかの一つ命題を与えてくれるものと思います。

私共の両法人、各施設はこれからの厳しい猛暑の夏を迎え、患者利用者の方々へ体力消耗、症状の悪化等への対応を充分配慮して医療、福祉業務をまっとうしてまいりたいと思います。

この4月からの診療報酬改定は我々の民間中小病院ではさしたる収入増にはなりませんでしたが、地域のニーズにあわせて質の向上につなげる努力でもって乗り切っていくつもりです。



社会福祉法人 松樹会 決算理事会・評議員会開催

去る5月20日(木)、藤阪ビル2階に於いて社会福祉法人松樹会の理事会並びに評議員会が開催され、主に平成21年度の事業報告や決算報告等について審議された結果、全議案とも満場一致で可決承認されました。

平成21年度のケアハウスや特別養護老人ホーム等の施設サービスは、前年実績と大きく変わらない運営が行われました一方、今年度の目標としてデイサービスセンターやショートステイ等の居宅サービスでは、更なる充実が求められる等の報告が行われました。また、本会の後半では、平成23年度に開設予定であるグループホームの進捗報告が行われ、規模は定員18名の2ユニット、場所は特別養護老人ホームいこいの里の隣地である交北地区に開設予定となっています。開設日は来夏以降を予定していますが、詳細が決まり次第、ご案内を随時実施したいと考えておりますので、宜しくお願い致します。(記：岡崎)

看護・介護部のユニフォームが新しくなりました

看護部長 藤原千佳子

5月1日からのユニフォームは、看護・介護スタッフ全員が試着し選びました。

機能性・ファッション性を重視し、院内が明るくなり患者様にも喜んでもらえるようなユニフォームになりました。

実際患者様から、「かっこいいね」「きれい」「若くなった」などとお褒めの言葉を多数いただき、大変うれしく思います。

新しくなったユニフォームで、心機一転患者様によりよい看護・介護が提供できるように、これからも力を合わせてがんばっていきたいと思います。



看護師

介護士

中村記念病院

日本リハビリテーション医学会認定臨床医取得と学会発表

医師 笠井治文

中村記念病院が平成18年4月にリハビリテーションの専門病院として開院されたのとはほぼ同時期より勤務させていただき早5年目となりました。

これまでに、多くの患者様に接しリハビリ治療に取り組ませていただきました。入院された患者様が、在宅復帰をめざし一生懸命リハビリに取り組まれ、その多くの方々が自宅へ戻られるなど社会復帰されていることは医師として大きな喜びであり、また励みともなりました。

中村記念病院では私ども医師、看護師、リハビリスタッフをはじめ各部署職員が一丸となって患者様の期待に応えるべく奮闘しております。でも、一番奮闘していただいているのは患者様ご本人かもしれません。

私は、これからも患者様へより良いリハビリテーション医療の提供を目指すため、本年3月に日本リハビリテーション医学会認定臨床医を取得させていただきました。また、5月に開催された第47回日本リハビリテーション医学会学術集会に出席し、「右MCA脳梗塞患者に対する在宅復帰に

- 向けてのリハビリテーション(左片麻痺、高次脳機能障害に対するアプローチ)」と題し学会発表を行いました。学術集会では発表するだけでなく、貴重な講演や多くの発表を拝聴し、学ぶことの多さを痛感するとともに、一層の努力が必要と再認識いたしましたところ です。
- 今後におきましても、中村記念病院に入院してこられる患者様やご家族の皆様との信頼関係を大事にし、安心してリハビリを行える医療と、その環境づくりをめざし精進してまいります。



枚方ソーシャルワーク研究会会長を担って

地域医療相談室課長 伊内康宏

本年4月に、私は枚方ソーシャルワーク研究会(以下枚ソ研)の会長を拝命しました。枚ソ研は、枚方市及び近隣地区の保健、医療、福祉の現場で働くソーシャルワーカーで構成され、会員約140名(事業所90ヶ所)が参加する任意団体です。本会は、会員相互の交流親睦を図り、専門職としての質の向上を目的に2ヶ月に1度の勉強会を開催しています(昨年は通算70回を数えています)。また、枚方市高齢社会室、障害福祉室が主催する協議会委員の推薦依頼を請け負うなど行政と連携した地域の活動も行っています。

私ども、みどり会・松樹会両法人のソーシャルワーカーは、現在24名の大所帯となっております。各自がその職の重要性を認識し、専門職の質の向上を図るために、皆が基本的に枚ソ研に所属し、自己研鑽に励んでおります。

私は、枚ソ研を通じてピア(当事者同士)の横断的なつながりが生まれることにより、所属機関を超えて、相互に支えあうことができていると考えています。「上司は選べないが、スーパーバイザー(専門職の指導者)は自分で選ぶことができる。」そういった自由な土壌を枚ソ研は育てており、私が会を大切に思う一つの理由となっています。

最終的にクライアントに還元されることを常にイメージして、今後もこの地域活動を地道に続けていきたいと思っています。



就任後3ヶ月経って

施設長 武村 次郎

青田の上をつばめが飛び交い、今年もたくさんのひなが誕生しました。早いもので就任してから3ヶ月が経とうとしています。当初は何をどうして良いものか戸惑いの日々でしたが、少しずつ環境にも慣れ、仕事にもリズムが出てきました。

当施設は、終のすみかではなく、あくまでも在宅復帰に向けてADLの維持向上を目指す介護施設です。病院と異なり、主眼は介護ケアであり、介護の本質は思いやりにあると考えています。そのためには、入居者の皆さんとの相互信頼が何より大切です。

もちろん背後に中村病院があり、いざという時には心強い味方で、私どもの精神的支柱になっています。

職員には、機会ある毎に研修や勉強会に参加してもらい、質の向上を図っています。毎朝の標語は「やさしさと真心こめて介護する心やすらぐなごみの里は」です。この標語を

しっかりと心に受け止め、介護のプロとしての誇りを持って安全管理を心がけ安心して穏やかに過ごしていただけるよう、職員一同努力してまいります。

一つだけ残念なことがあります。それは週1回来て頂いている精神科の林医師との囲碁対決が実現していません。

やすらかな安寧の時は流れ、医師の出番ができるだけ少なくなるよう、皆さん方のより一層のご支援、ご協力をお願いいたします。



なごみの里農園だより

栄養課長 樋口 朋宏

なごみの里農園は介護老人保健施設なごみの里開設当初に現在のグループホームたんぼぼ長尾の場所（なごみの里敷地内）に小さな農園を設けておりましたが、農園活動により力を入れていくため、平成14年になごみの里の近くに開園いたしました。

なごみの里農園はご利用者が四季の草花、農作物に触れ合う機会を持つためと、リハビリの一環として活用しております。なごみの里他関連施設の方、約280名のご利用者に関わって頂いております。

農園の役割と致しましては、芋堀りや大根などの野菜、いちじくやゆず、キウイなどの収穫を行ったり、四季の草花を見に散歩に来られたりご利用者のレクリエーションの一環として活用しております。また、地産地消にも取り組んでおり、収穫された作物はなごみの里をはじめとする、みどり会、松樹会グループの各施設に配り、ご利用者のお食事として提供しております。普段の食事でも安全な食材の使用を心がけております。

なごみの里農園で出来た作物は、作った人の見える、地元の安全な食材として好評を頂いております。又、収穫された

作物の一部はご利用者・家族様にもお配りしております。

このようにスタッフが長年に渡って地道に活動してきた農園ですが、さらに地域の方にもご理解とご協力を得られるよう今年の5月に案内看板の設置を行いました。これによりなごみの里農園が行っている活動がはっきりと地域の方に伝わっていくのではないかと考えております。



在宅部門

3年を振り返って

グループホームたんぼぼ長尾 管理者 中島 亜矢子

グループホームたんぼぼは、平成12年4月に設立され丸10年が経ちました。

9名という少人数で家庭的な環境の中、皆様、穏やかに生活しておられます。

グループホームに限らず、施設に入居される利用者様は、住み慣れた在宅での生活から一変した環境で暮らしていく事に、不安や戸惑い、不自由さを抱えておられます。

特に認知症を患っておられる方は、環境の変化に戸惑い「家に帰りたい」と訴えられたり、攻撃的になられたりすることがありますが、それは極自然な行動であり、その気持ちに寄り添い、共感し、支えていく事が、そばにいる私達職員の仕事であると考えます。

グループホームは、少人数という特性を活かし、きめ細やかな配慮や関わり、寄り添いが出来るというのが魅力であり、その関わりを続ける事で、始めは不安であった方にも、穏やかで

安心した生活を提供出来る施設だと思っております。

平成19年に着任して以降、この3年間、入居者様の笑顔や穏やかな表情、感謝の言葉が一番のご褒美であり、励みでもありました。

今後も、そのご褒美の一つでも多く頂ける様、頑張っていきたいと思っております。



入所者様と談笑する中島管理者



どうする？ ゴミ屋敷

看護師 梶河 理恵子

包括に配属され、様々な相談、予防プランの立案に追われる中、何度か経験した問題に、いわゆる「ゴミ屋敷」があります。

解決方法を考える上での共通の問題点として、「散らかっている」事が恥ずかしく自宅に入らせて頂けないと言う事があります。そして、「捨てる許可を得られない」と言う事も殆どのケースにあてはまる問題です。御家族とも疎遠になっている方が多く、家族の許可を得て処理をすることもままなりません。時間を掛け、御本人の「いいよ」と言う一言を頂くまで、声を掛け続けます。

次の問題は、「誰がするか」です。中途半端なゴミの量ではない上、お金が無い、人間関係が築けない等の理由で、介護関係者が関わる事が多くなるのです。先日も、スタッフのケースに同行し、掃除をしてきました。排泄物や正体不明の虫との戦いですが、御本人がいらっしゃる為余り大声で叫ぶことも出来ず、心の中で「キヤー！」と叫びながら掃除をし、あっという間にゴミ袋の山が築かれました。

環境整備が必要なお宅は、まだまだ地域の中に潜在しています。そんなお宅を気にしながら、私達は今日も街を歩き回ります。

社会福祉法人 松樹会

松樹会 デイサービスセンターの取り組み

現在、松樹会では2つのデイサービスを運営しています。2つの事業所とも定員15名の小規模なデイサービスとして続けていました。法人の理念でもあります「個々の願いに応じたサービスや環境を提供します」を実現できるよう、ご利用者と職員が身近に感じられるサービスを行っています。地域の皆さまや居宅ケアマネの方にも少しづつ、周知されご紹介いただくことも多くなってまいりました。

さて、最近のご利用者との会話の中で「老いにより出来ていたことが、出来なくなっていることに憤りを感じています」といった相談もあり、ご利用者の「老い」に対しての「怖れ」や「不安」を感じながら日々過ごされていることが伝わってきます。そうした、不安を少しでも払拭できるよう、現在デイサービスでは作品作りを通して「やりがい」や「人に見てもらえる楽しさ」を感じていただく取り組みをしています。

出来上がった一つ一つの作品に目を配り、声をかけていくことも小規模デイサービスの持ち味ではないかと思えます。ある方は、一つの作品をデイサービスで習い、それを持ち帰りご自分でアレンジをし直し、デイサービスにお披露目に来られた方もありました。うまく作ることだけが目的にならないように、ご利用者が出来る範囲で作品を作り上げていただけるよう職員もお手伝いをしています。ご家族からも持ち帰った作品をみて「こんなに母が上手く作れるとは知りませんでした」と違った一面を見れてうれしそうなお便りをいただいたことも印象的でした。

これからもご利用者の一人ひとりの「生きがい」を見つけられるお手伝いができるデイサービスとして取り組んでいきます。(記：生活相談員 守山・浅川)

介護・リハ職員による一部医療行為可能に！ 研修会開催 ～喀痰吸引法の実際～

平成22年5月1日、医療法改正に伴い理学療法士・作業療法士・言語聴覚士及び特別養護老人ホームに従事する介護職員に医療行為の一部（喀痰の吸引）が認められました。

これを受けて、医師の指導の基に医療行為が安全に実施できるように、中村病院・中村記念病院・いこいの里・なごみの里等のリハビリスタッフ、介護士を対象に“喀痰吸引法の実際”と題し研修会を5回行いました。

研修会では、講義と吸引法のデモンストレーションを行い

ましたが、初めての業務であり、不安の声も多数聞かれました。

患者様・利用者様の急変時に備え、いち早く対応出来るよう又、常時安楽に過ごしていただけるよう、この行為が確実なものにできるように医師・看護師も連携を図りたいと思います。

(記：研修委員会 藤田・三浦)



各施設連絡先

社会福祉法人 松樹会

特別養護老人ホーム いこいの里 072-898-2197
 デイサービスセンター いこいの里
 居宅介護支援センター つくしんぼ 072-898-2196
 つくしんぼ長尾 072-868-2190
 デイサービスセンター 長尾
 有償運送事業(福祉タクシー) 072-868-2190
 つくしんぼ藤阪 072-868-2191
 たんぼぼ藤阪 072-868-2197

鍼灸接骨院 つぐみ 072-836-8280

医療法人 みどり会

中村病院 072-868-2071
 地域医療相談室
 中村記念病院 072-868-2070
 なごみの里 072-868-2072
 ケアプランセンター なごみ 072-818-7533
 サテライトなごみの里 072-818-2071
 デイサービス長尾の里
 たんぼぼ長尾 072-868-2195
 訪問看護ステーション 072-868-2071
 訪問介護ステーション みどり 072-868-4392
 枚方市地域包括支援センターみどり 072-845-2002
 みどり保育所 072-850-7550

—— 編集後記 ——

みどりの風の編集に携わって6年目にはいりました。各施設編集委員の協力を得て地道に施設責任者の声と、施設運営の様子を素直にお伝えするという姿勢で発行をかさねてまいりました。お蔭様で地域の皆様の御支援を頂戴して順調に推移しておりますが、今後どのような風が医療福祉社会にむかってくるのか、この参議院選挙での論点のひとつである社会保障の充実を期待するとともに、地域に根ざした医療福祉機関として努力を重ねてまいりますので御指導、御支援を頂戴したいと思っております。

みどりの風発行委員会
 連絡先 ☎072-868-2071
 法人本部 松田